

戸田記念国際平和研究所主催
オンライン・シンポジウム

先端技術兵器の 規制を考える2 —科学史が提供する視点—

科学技術の発展は、兵器の能力の飛躍的な向上を可能にし、国家の安全保障にも多大な影響を与えてきました。一方で、軍民両用（デュアル・ユース）技術の重要性も指摘されており、軍事技術への規制は民生技術の活用にも影響を与えることが懸念されています。先端技術のもたらしうる影響を完全に予測することが困難な状況で、わたしたちはどのように規制を展望することができるのでしょうか。今回は、自立型致死兵器システム（LAWS）の問題について、科学史の提供する知見から何が学べるかについて考えます。

日時

7月21日(水)午後7時~9時

場所

オンライン (Zoomウェビナー)

登壇者



報告

畠山 澄子

ペンシルベニア大学博士課程在籍、科学技術史専攻。ピースポートスタッフ。ケンブリッジ大学政治・社会学部卒業。共著書に『マンガ入門 殺人ロボットがやってくる!?: 軍事ドローンからロボット兵器まで』(合同出版)、『軍縮教育 ピースポートの方法論[英語書籍]』(国連)がある。



モデレーター
河合公明

戸田記念国際平和研究所主任研究員
PSET共同代表



コメント
稲垣知宏

広島大学情報メディア教育研究センター
教授
日本パダグォッシュ会議代表
PSET共同代表



コメント
平田知義

明治大学POLARIS-DUT(軍民両用・融合技術
研究ユニット)代表
明治大学 研究・知財戦略機構 客員研究員
PSET共同代表

参加方法 事前登録制(参加費無料)

7月18日までに参加登録フォームにアクセスいただき、ご登録ください。

ご登録いただいた参加者には後日、Zoomウェビナーのリンクをお知らせします。

※リンクの共有や公開はご遠慮ください。

※いただいた個人情報は、戸田記念国際平和研究所により厳密に管理され、シンポジウム、研究会のご案内以外の目的には使用しません。



お問い合わせ
戸田記念国際平和研究所
河合公明 Email: kawai@toda.org

主催：戸田記念国際平和研究所
共催：安全保障と先端技術プラットフォーム (PSET)